

モニタリング結果報告書 (平成27年度)

1. 施設概要

施設名	七沢森林公園		
所在地	厚木市七沢・上古沢・小野		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/nanasawa/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和63年4月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会		
指定期間	H27.4.1～H32.3.31	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>利用者数は前年を上回ったものの、イベントでの集客が想定していたほど伸びず、目標値の達成には至らなかった。しかし、その他の評価項目については極めて良好であった。</p> <p>今後は、公園管理の基本となる着実・丁寧な植物管理や施設管理を継続するとともに、利用者ニーズに対応した地域イベントの実施を強化する等、更なる利用者の獲得に努めてもらいたい。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <p><管理運営等の状況></p> <p>七沢森林公園は、市街地に近いが、森林の中をゆっくり散歩できる緑豊かな里山公園である。約60種のシャクナゲが咲く「シャクナゲ園」、工芸体験ができる「森のアトリエ」、バーベキューが楽しめる「ピクニック広場」、イベントの会場としても利用される「森の民話館」が人気の施設である。「資源循環型管理の実施」として、公園の間伐材を、土留柵や野外料理イベントの薪に用いている他、間伐材を炭焼窯で焼き、バーベキューの燃料として100%まかない、トイレの消臭剤にも活用している。炭焼時に出る木酢液は、園路に散布し、ヤマビル駆除に活用するなど、この公園独自の工夫を行っている。また、地域と連携したイベントを開催している点、落葉掻き等の努力によりヤマビル被害を軽減している点が評価できる。</p> <p><利用状況><利用者の満足度></p> <p>施設の魅力向上のため、提案に基づき植物管理や施設管理を精力的に行い、魅力的な運営を行っているため、利用者の満足度(上位2段階の割合)が98%と高い。利用者数は対前年比103%を確保している。</p> <p><収支状況></p> <p>老朽化が進む設備・備品等の点検を重点的に行い、積極的な修繕及び備品更新により利用者サービスの向上に努めたこと、徹底した節電の実施による経費の節減等に努めており、H27年度の収支差額を104%としており、上記取組みを実施しつつも良好な収支状況である。</p> <p><苦情・要望等><事故・不祥事等></p> <p>年間利用者数約25万人もありながら、指定管理者に起因する苦情・要望・事故等がほとんどないことは特筆すべきものである。当公園の特色は、自然豊かな森林公園であることから、人工物が少なく、苦情の対象となる施設等が少ないこともあるが、指定管理者が利用者の視点に立った管理運営を日ごろから心がけ、業務を実施していることが伺われる。</p> <p><労働環境の確保に係る取組状況></p> <p>県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p>

3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要
A	※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	なし
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	週に1回程度	なし
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	指導・改善勧告等の内容
		なし

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
神奈川県「未病を治すかながわ宣言」に賛同し、具体的に取り組む ・「未病を治すかながわ宣言」への賛同、協力、及び公園の施設を活かした健康づくりに関する取組みの実施	・公園の特性に応じた健康推進イベントを開催した (毎月第2日曜日) 森林セラピー体験ウォーク(参加者40名) (毎月第3日曜日) ノルディックウォーキング(参加者50名)	
資源循環型管理の実施 ・園内の間伐材や落ち葉等を木材や炭、肥料等として活用	・樹林地の間伐や危険木の伐採等により発生した材を、炭窯を活用し木炭や木酢液を生産し、木炭はバーベキューの燃料として、木酢液はコケの駆除に活用した。また、製材した間伐材を案内板や土留め柵に素材として活用した。 ・落ち葉は肥料化施設に搬入し熟成させ、シャクナゲの肥料として活用した。	
年間を通じて賑わう公園づくり ・季節ごとに特色のあるイベントの実施	・季節ごとに森林公園らしい特色のあるイベントを開催した。森を楽しむイベントとして始めて開催した「ツリークライミング」や「落ち葉掻き体験と焼いもづくり&シシ鍋」は大変好評であった。 ・その他主なイベント 春(4/26) 緑まつり(来園者3,600人) 夏(8/7) カブトムシつかみどり体験 秋(11/3) 森のまつり(来園者19,000人)	
広域的情報発信、イメージアップ、広報 ・本公園の広報強化	・イベントポスターやパンフレットを近隣施設へ配布 ・公園ホームページに園内の旬の情報を年間約200件掲載するなど情報発信を強化した。	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
有料駐車場の運営	計画通りに実施した。 H27年度実績(大型+普通+自二)41,096台

5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
B	

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	258,571	245,502	253,249
対前年度比		94.9%	103.2%
目標値	225,000	225,000	279,392
目標達成率	114.9%	109.1%	90.6%

目標値の設定根拠： 前年度、前々年度：平成18～20年度実績平均の95%
平成27年度：提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

[参考：最大利用可能人数／年]

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日4回、平日4回の計8回調査	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者が高い満足度を得ている。

[施設としての総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 168 / 168 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
施設としての総合的評価の回答数	102	55	3	1	0	161	全体によく管理されていると思う
回答率	63.4%	34.2%	1.9%	0.6%			
前年度の回答数	61	14	11	6	1	93	
前年度回答率	65.6%	15.1%	11.8%	6.5%	1.1%		
回答率の対前年度比	96.6%	226.9%	15.8%	9.6%	#VALUE!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 公園スタッフの対応はいかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 168 / 168 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	89	31	3	2	0	125	とても感じが良い
回答率	71.2%	24.8%	2.4%	1.6%			
前年度の回答数	43	3	0	1	0	47	
前年度回答率	91.5%	6.4%		2.1%			
回答率の対前年度比	77.8%	388.5%	#VALUE!	75.2%	#VALUE!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

--

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超える マイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	74,220	0	5,000	駐車場5,000	79,220	79,220	0	100.00%
	決算	74,220	0	4,193	駐車場4,193	78,413	76,883	1,530	101.99%
前年度	当初予算	76,340	0	5,167	駐車場5,167	81,507	81,507	0	100.00%
	決算	76,340	0	4,352	駐車場4,352	80,692	76,775	3,917	105.10%
27年度	当初予算	70,400	0	5,077	駐車場4,114 自販機963	75,477	75,477	0	100.00%
	決算	70,400	0	5,617	駐車場4,363 自販機1,254	76,017	72,997	3,020	104.14%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

27年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
H27.4～H28.3	9,682	転落防止柵修繕(999千円)ほか

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 300千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	0 件		
	件		
職員対応	0 件		
	件		
事業内容	0 件		
	件		
その他	0 件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況
6月10日	昼間、であいの広場で清掃管理委託先の作業員が、除草作業をしていたところ小石が飛散し、近くに設置されているNTT電話ボックスのガラス(1面)を破損させた。(人的被害なし)	委託作業員の危険予知が十分でなく、草刈機による飛び石防止措置を怠った。	①委託業者と作業員の安全衛生について打合せを行い、作業員への安全指導の徹底と再発防止を図った。 ③破損に伴う補償は、委託業者が負担し、現在は復旧済みである。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査(包括外部監査含む)又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。